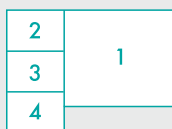


有限会社 ミキ・ファイバー

- ▶対象類型 ものづくり技術・精密加工
- ▶事業類型 一般型 試作開発＋設備投資
- ▶主たる目的 技術革新

新素材である炭素複合材料の 加工精度向上の試作開発と設備投資



1／今回導入した高速立型マシニングセンタ。 2／右奥が炭素繊維。導入した機械で、複雑で難しい切削などの加工が高精度で可能になった。 3／プログラム入力も簡単。自動で計測して加工が完了するため正確で早い。 4／複合材料「c/cコンポジット」は、炭素繊維を織物状にして積み重ね、炭素の樹脂で固めて焼き上げている。織物が層になっているのが分かる。

培ったノウハウと高精度加工で、顧客の信頼を獲得。

ミキ・ファイバーは、炭素（カーボン）繊維の織物を炭素樹脂でコーティングし、高温焼成を行った複合材料「c/cコンポジット」の加工に特化した企業で、丸棒やネジの製造を得意としている。c/cコンポジットは、熱を加えると硬化する特性がある。鉄やステンレスでは溶けてしまう高温の炉の中など、特殊な環境で使われる治具などに利用されるほか、摩擦の少ない摺動材^{しゅうどうざい}としても重宝される新素材だ。軽くて丈夫なため、飛行機の部品など、あらゆる分野で用途拡大が見込まれていて市場拡大の期待も大きい。しかし、炭素繊維を積み重ねているため非常に硬く、切削等の加工が

難しいという問題があり、これまでの機械では加工精度±0.1mmが限界だった。

今回導入した高速立型マシニングセンタでは、±0.01mmの加工精度を目標に掲げて試作開発を行った。穴加工・フライス加工・長さ加工の全てで、目標の値をクリア。精度の高い加工が可能になったことで、他社にはない強みを獲得できた。この加工精度を保つため、今後は材料そのものの質の高さと、加工前の下処理が課題となっている。顧客のニーズを捉えた製品開発と精密加工を得意とする「トップ企業」を目指して、挑戦を続けていく。

注目すべき 成果

高精度加工が可能に。信頼と注文を獲得。

顧客が求める質の高い製品を提供できるようになり、これまで以上に「良いものを作る会社」という信頼向上につながった。そのため、他の一般的な製品においても新たな受注が増えており、利益拡大が期待できる。

今後の展望

用途開発と販路の開拓にチャレンジ。

炭素繊維市場は、この先もさらなる拡大が予想される。一層の高精度化と低価格化が求められるが、これまでにない用途開発に積極的に取り組み、新たな販路の開拓にチャレンジしていく。

今後の展望

オールマイティ化と事業拡大を目指す。

c/cコンポジット加工のオールマイティ化を目指して、さらなる事業拡大を計画している。顧客からの「c/cコンポジットの加工はミキ・ファイバーで」というクチコミも頼りに、信頼あるものづくりを続けていきたいと考えている。

ものづくり専門員から一言

加工精度±1/100mm の成果が、 受注増に貢献。

平成25年度ものづくり補助金採択に加工精度向上実績が加わり、信用度が向上。高精度加工の実績が一般的な精度のものとの一括発注を呼び込み、企業経営を牽引。カーボンファイバーの将来性を見極め、次代の3軸加工への展開に飛躍の礎を築いている。

こんな会社です！



代表取締役
西内 典男さん

少数・短納期に対応 勝山に根差した企業として地元に貢献。

当社は、特殊加工したカーボン繊維の織物「c/cコンポジット」の加工に特化した企業です。炭素繊維市場は拡大を続けており、伸びが顕著です。精度の高い加工にこだわり、当社でしかできない技術とノウハウを用いた製品開発で、少数のご注文・短納期に対応してまいりました。鯖江市のCFCデザインと協力しながらこの先も歩んでいくとともに、勝山に根差した企業として、これからも地元の雇用創出に貢献していきたいと考えています。

有限会社 ミキ・ファイバー

代表者／代表取締役 西内 典男
設立／平成8年（1996年）8月1日
資本金／300万円
従業員数／12名
事業内容／炭素繊維製品の加工、販売
〒911-0815 勝山市下高島12-18-1
☎ 0779-88-8773 FAX.0779-88-1622
[E-mail] qqeq9639k@leaf.ocn.ne.jp



得意としているc/cコンポジットを加工したネジ。



本社・工場